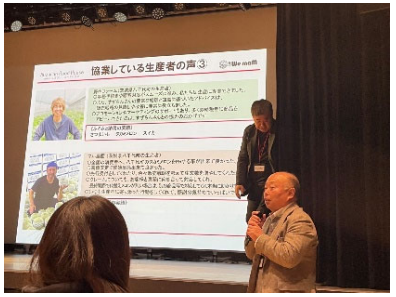
No.15　茨城県八千代町（町の魅力発掘･ブランド化等）

地域力創造アドバイザー	渡邊 竜一氏（A450）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、シティプロモーション･地域PR
活用期間（頻度）	令和６年度～令和８年度（月１回程度）
キーワード	＃魅力発掘　＃シティプロモーション　＃賑わい創出　＃世代間交流　＃地域ブランド化　＃若手活躍 ＃地域連携　＃シビックプライド　＃ふるさと納税

【目的】白菜日本一の町として、知られる八千代町がさらなる町の魅力を発掘・再発見し、住民参加型のシティプロモーションや町のブランド化の取組みを継続性を持って行う体制づくりを行うとともに、地域活性化の取組に関する知見やノウハウを活かし、ふるさと納税制度のさらなる活用及び返礼品開発等につなげていく。

【内容】
○白菜日本一の町のブランド向上に向けたPR企画
○生産者の活動を広く周知するための勉強会の開催
○町のPR動画を制作する高校の取組みを支援
○地域ブランド化の取組み事例の紹介や連携

白菜日本一のブランド化検討会議



アミューズ主催勉強会での八千代生産者の紹介

八千代高校での映像講義

【成果（見込み）】
○白菜日本一を標榜するための深い知識を住民が理解するための“検定”制度などの仕組化を提案。
令和7年度に具体的な取組みを検討することとなった。　⇒　次年度検定の仕組化へ（見込み）
○町のブランド化を進めている富士河口湖町と本社を当町に移転しまちづくりに取組む株式会社アミューズを紹介し現地訪問。町の音楽フェス立上げメンバー３名を随行させ、民間と行政の連携の様子やメディアの活用・プロモーション手法などを学んでもらった。
アミューズ主催の勉強会において八千代町の生産者の取組みを紹介。60名の聴講者の参加を得た。
今後連携したふるさと納税の加工返礼品などの開発やまちのブランドPRについて連携協力を進めていく。
○八千代高校で３年生が取組んでいる町のPR動画制作に関して、企画制作に関する講義を行い、町への興味関心を惹く動画について指南。その意図を汲んだ３本の動画が完成し、完成後の講評も行った。
次年度以降も、高校とも参加型のまちづくりの活動の連携を図っていく。